

5 週間の教育実習が終わりました！

あっという間の 5 週間。子どもたちは、実習の先生方と共にたくさんの学びや笑顔にあふれる日々を過ごしました。

教育実習が始まるずっと前から、子どもたちのために時間をかけて準備をしてくださった実習生のみなさん。「どんな授業をすれば子どもたちが意欲的に学べるだろう」「どうしたら一人一人の思いや考えを大切にできるだろう」と、真剣に悩み、じっくり考えながら、45 分の授業を丁寧に組み立ててくださいました。



初めての授業実践、そして子どもたちとの関わり。きっと大変なこともあったことと思います。



そのような中でも、「より良い授業にするにはどうすればよいか」「どうしたら子どもたちの力を伸ばせるか」と試行錯誤を重ね、子どもたち一人一人のよさを大切にしながら関わる姿がとても印象的でした。



子どもたちの声に耳を傾け、温かいまなざしで向き合う実習の先生方の姿は、本当に素敵でした。



一人一人の子どもの思いを受け止め、言葉をかけたり、困ったときに一緒に考えたり、思いきり笑ったり遊んだり——温かく子どもたちに寄り添う姿は附属三原小全員の心に残っています。





あっという間にお別れ。実習の期間はそれぞれでしたが、最終日には各クラスでお別れ会を開きました。楽しく遊んで思い出をつくったり、お別れが寂しくて涙を流したりと、心温まる時間になりました。実習の先生方からのサプライズの贈り物やメッセージも、とても嬉しかったです。

実習期間中、実習の先生方は子どもたちの【優しさ・まっすぐさ・友だちを思いやる温かさ】など、たくさんの「すてき」を見つけてくださいました。

その温かなまなざしは、きっと子どもたちの心にも届いていることでしょう。

実習生のみなさん、ありがとうございました。

それぞれの輝かしい未来に向かって、これからも歩いていってください。

本当にお疲れさまでした。これからも応援しています。

